

第6学年道徳科学習指導案

令和5年6月23日(金) 5校時

1組25人 指導者 教諭 今柳田 優芽

- 1 主題名 あきらめない心 A-(5) 希望と勇気, 努力と強い意志
教材名 「上村さんのちょうせん ―ひさい犬と共に―」
【小学道徳 生きる力6】(日本文教出版)

2 主題について

(1) 価値及び指導について

本主題は、学習指導要領道徳科の内容項目A-(5)「より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。」を深めることを意図したものである。これは、低学年の内容項目A-(5)「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。」を受け、さらに中学年の内容項目A-(5)「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。」へと発展していく。また、中学校の内容項目A-(4)「より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。」につながるものである。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、常に自分自身を高めたいこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。

こうしたことは、ただ漫然と努力するのではなく、自分に適した目標を設定し、見通しをもってよりよい自己を実現しようと向上心と結び付いてこそ、前向きな自己の生き方が自覚できるようになる。そのためにも、児童がより高い目標を立てたり、その実現を目指して自分としての夢や希望を掲げたりすることが大切である。自分の目標に向かって、勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力することができるようにすることが重要である。

この期の児童は、それぞれに高い理想を追い求める時期と言われる。先人や著名人の生き方に触れる機会が多くなり、その生き方に憧れたり、自分の夢や希望を膨らませたりする。一方、自分自身に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、夢と現実との違いを意識することもある。このような時期であるからこそ、様々な生き方への関心を高めるとともに、自己の向上のためにより高い目標を設定し、その達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力しようとする強い意志と実行力を育てる必要がある。

指導に当たっては、苦しくてもくじけずに努力して物事をやり抜き、失敗を重ねながら夢を実現した人に触れ、希望をもつことの大切さや、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて考えることを通して、児童の中により積極的で前向きな自己像が形成されるようにしていきたい。

(2) 教材について

本教材は、犬の訓練士の上村さんが被災犬である「じゃがいも」を災害救助犬にする話である。じゃがいもはなかなかテストに合格することができなかった。5回目のテストでは、じゃがいもは上村さんの指示に全然従わなかった。合格させることができなくて申し訳ないと思っていた上村さんだったが、応援してくれている福島の人たちに力をもらい、合格を目指した。11回目のテストで合格することができ、上村さんはじゃがいもを災害救助犬、そして故郷を活気づける大使にすることができた。そんな中、上村さんはじゃがいもとともにもっといろいろなことに挑戦していくという内容である。

高学年の児童は、将来に向けて夢や憧れを意識すると同時に、現実と夢との違いに気付いたり、自信を失ったりする時期である。自分自身を客観視できるからこそ、幼いときとは違い、夢を実現することの難しさを意識するようになる。

成果を上げたから素晴らしい、実現に向かって努力するから素晴らしいというのではなく、児童が感じている難しさを受け止めつつ、難しいからこそ、やりがいを感じ、挑戦を続けることができるのだということに気付かせたい。

(3) 全体計画(別葉)との関連

教科等
○ 国語科 「今、私は、ぼくは」 これまでを振り返り、これからを思いえがいて、今の思いを伝えるスピーチをする。
○ 社会科 「戦国の世から天下統一へ」 天下統一を進めた二人の武将の働きについて学習する。

本時
○ 道徳 あきらめない心 「上村さんのちょうせんーひさい犬と共ニー」

・学級目標 (BESTCLASS)
・1学期の目標
・キャリアパスポート
・朝の体力づくり

3 児童の実態・考察

(1) 道徳的価値との関連について (アンケート実施日：令和5年5月10日(水) 調査人数25人)

① あなたは今頑張っていることがありますか。	
ある。 (18)	ない。 (7)
② 頑張っていることを続けることが大切だと思いますか。	
大切。 (21)	あまり大切ではない。 (0)
どちらかといえば大切。 (2)	大切ではない。 (2)
③ それはなぜですか。	
【大切】 ・ 頑張らないとできないことがたくさんある。 ・ 途中でやめたら意味がない。 ・ あきらめたくない。 ・ いつか努力が報われるかもしれない。 ・ 目標を達成させたい。 ・ 続けていえる人はなかなかいない ・ 大人になったときに役に立つ。 ・ あきらめない力がつく。	・ 「頑張ると報われる」と教えてもらった。 ・ 諦めないで挑戦し続けるのは大切。 【どちらかといえば大切】 ・ 頑張ったことはいつか役に立つ。 ・ 頑張ることがいいこと。 【大切ではない】 ・ 頑張っていたとしても本当に大切だとは思わない。 ・ すぐに諦めてしまう。
④ 今頑張っていることを続けられていますか。	
できている。 (14)	あまりできていない。 (0)
まあまあできている。 (9)	できていない。 (2)
⑤ それはなぜですか。	
【できている】 ・ 一つのことをもっともっとできるようになりたい。 ・ 意識している。 ・ まだ達成できていない。 ・ 途中でとまりたくない。 ・ 役に立つことをするのはいいこと。 ・ 勉強した意味がない。 ・ 頑張った分だけできるようになることがある。 ・ あきらめていない。 ・ 頑張ることは楽しい。	・ もっと足が速くなりたい。 ・ 将来の夢にかかわる。 ・ 頑張っていることを続けた成功体験がある。 【まあまあできている】 ・ 頑張らないとできないことがたくさんある。 ・ 一回挑戦したことは諦められない。 ・ 後から役に立つかもしれない。 【できていない】 ・ 分からない。 ・ 頑張ることがない。

①の結果から、本学級の7割の児童が今頑張っていることが分かる。また、②では「いつか努力が報われるかもしれないから。」や「途中でやめたら意味がないから。」などの理由からほとんどの児童が頑張っていることを続けることが大切であると感じていることも分かる。④からは、今頑張っていることを続けられている児童が6割いることが分かる。③、④の結果から、頑張っていることを続けることは大切であるとも思っているが、実際に行動に移せていない児童が多数いることが分かる。

このことから、理想と現実のギャップを感じながらも、上村さんの経験を自分事として考えさせ、挑戦し続けるためにはどのような考えが大切であるか気付かせていきたい。

(2) 本校の研究主題との関連について (アンケート実施日：令和5年5月17日(水)調査人数25人)

① 道徳の学習でどんな活動が好きですか。【複数選択】			
ア 登場人物の気持ちを考える (2)	オ 自分のことをふりかえる (6)	イ 自分の考えを発表する (2)	カ タブレットを使う (9)
ウ 友達の考えを聞く (10)	キ ない (4)	エ グループでお互いの考えを伝え合う (6)	ク その他 (0)
② ①で選んだ理由を書きましょう。			

<p>ア 登場人物の気持ちを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こういう気持ちなんだと発見することができる。 <p>イ 自分の考えを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをみんなに伝えることができる。 <p>ウ 友達の考えを聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と活動するのが楽しい。 ・ 自分で発表することが苦手だけど、友達の考えを聞くことは好き。 ・ 自分の考えとどこが似ていてどこが違うのかが分かる。 ・ 色々気付くことがある。 ・ 自分と違う考えを聞くことができる。 <p>エ グループでお互いの考えを伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表が苦手な人もグループ内なら言えると思う。 ・ 自分の考えと違うところに気付くことができる。 	<p>オ 自分のことをふりかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次にどうするかを考えることができる。 ・ 今までの自分を振り返ることが大事。 ・ さらによくなると思う。 ・ 自分を見つめ直す時間が好き。 <p>カ タブレットを使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えと違う考えを知ることができる。 ・ ノート替わりになる。 ・ タブレットを使うのが好き。 ・ 手書きよりパソコンで打った方が楽。 ・ 授業がしやすいし、楽しい。 ・ 機械などが好き。 <p>キ ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳が嫌い。 ・ どれも好きではない。 ・ 好きでもないし、嫌いでもない
<p>③ 友達の考えを聞いたり、自分の考えと比較したりすることは好きですか。</p>	
<p>好き (19)</p>	<p>きらい (6)</p>
<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えが変わるときがある。 ・ なるほどと思うときがある。 ・ 友達の意見も知りたい。 ・ 友達の考えを聞いて他の考えに気付くことができる。 ・ 友達の考えが気になる。 ・ 友達の考えを聞くと、新しい考えが思いつく。 ・ どんなことが違うのか分かる。 	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比べられない。 ・ 友達の考えと自分の考えを比べるのが苦手。 ・ 自分が比較されているみたいで嫌な気持ちになる。
<p>④ 伝え合う学習活動で好きな活動は何ですか。(自分の考えを伝えやすい活動は何ですか。)【複数選択】</p>	
<p>ア タブレットを使って考えを共有する (11)</p>	<p>エ 全体で発表し合う (1)</p>
<p>イ ペアで伝え合う (5)</p>	<p>オ ない (5)</p>
<p>ウ グループで伝え合う (8)</p>	<p>カ その他 (0)</p>
<p>⑤ ④で選んだ理由を書きましょう。</p>	
<p>ア タブレットを使って考えを共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの前で発表するのが苦手。 ・ 発表が苦手な人も意見が言える。 ・ 共有するとみんなの意見が知ることができる。 ・ 直接自分の意見を伝えるのが苦手。 ・ みんなの考えを見ることができる。 ・ 話合いが苦手。 <p>イ ペアで伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合える。 	<p>ウ グループで伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えが整いやすい。 ・ グループ内だと考えが言いやすい ・ あまり多すぎると言いにくい。 ・ 話しやすい。 <p>エ 全体で発表し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの考えが分かる。 <p>オ ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どれも苦手。 ・ 発表や伝え合うことが苦手。

①の結果から、友達の考えを聞く活動とタブレットを使う活動が好きな児童が多いことが分かる。友達の考えを聞く活動が好きな理由もタブレットを使う活動が好きな理由も、「自分の考えと違う考えを知ることができるから」などと似ている理由があることが分かる。一方、「発表することが苦手だから」という意見も挙げられた。

このことから、友達と自分の考えと共有したい気持ちはあるが、全体で発表するのが苦手であるため、考えを共有する手段としてタブレットを活用することが効果的であると考える。③からは、8割の児童が友達の考えを聞いたり、自分の考えと比較したりすることが好きであることが分かる。

このことから、より多くの考えを聞いたり、比べたりすることができるようにするため、タブレットの活用が効果的であると考える。⑤からも「共有するとみんなの意見が知ることができる」、「みんなの前で発表するのが苦手」という理由で、タブレットを使って考えを共有する活動が好きな児童が多い。そこで、考えを共有する活動では、タブレットを活用していきたい。

(1) ねらい

- 難しいからと初めから諦めるのではなく、難しいことだからこそ頑張ることにやりがいを感じられることに気付き、何事にも挑戦しようとする心情を育てる。
【道徳科のねらい】
- 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができるようにする。
【研究主題のねらい】

(2) 本時の展開に当たって

ア 導入

まず、児童が立てている現在の目標についてどのくらい頑張っているか自分自身の現状を把握するために、心のバロメーターを活用する。現状を把握した上で、既得した道徳的価値を想起させ、「最後まで諦めない」「努力し続ける」など、心の中で分かっているながらも、実際には諦めてしまっているという葛藤があることを認識し、自分なりの問題意識をもって学習に臨めるようにする。


イ 展開

教材を一読した後、上村さんがどんな思いでじゃがいもを災害救助犬にしようと挑戦し始めたのか考えさせることで、うまくいかなくとも簡単には諦めない強い思いがあることに気付かせたい。中心発問では、主人公の気持ちをより自分事として考えられるように、自分だったらどうするかという発問を取り入れる。その際には、ロイロノートで自作のシンキングツール（座標軸）を活用して共有し、友達の考えも一目見て分かるようにするとともに、自分の考えとは異なる立場の考えの友達と対話ができるような時間を設定する。また、ロイロノートの共有ノートを活用して友達の考えを画面上でたくさん知ることができるというよさと、黒板のネームプレートを使って微妙な気持ちの位置を意思表示できるというよさを融合させた授業を展開していく。

ウ 終末

脇本タイムでは、本時で学習して感じたことを振り返り、これからどうしていきたいかを考えさせる。その際に、導入で活用した心のバロメーターで自分の気持ちや考えにどのような変容が見られたか比較させ、より自分の生活と結び付けた振り返りをさせる。また、学習を通して、どのようなことを学び、今後に生かしていくかを共有させるために、ロイロノートを活用する。さらに、教師の説話によって自分の考えを整理したり、一層深めたりし、本時の学びに余韻をもって終わることができるようにする。


(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点 ※対話活動の充実を図る場面 ◇ICT活用 ☆評価
導入	<p>1 現状を把握し、既得した道徳的価値を想起させ、問題意識をもつ。 〈挑戦し続けるために大切な考え〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 挑戦し続けるために大切な考えは何だろうか？ </div> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 努力し続ける。 ・ 最後まであきらめない。  </div> <p>2 本時のめあてをもつ。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> 挑戦し続けるために、より大切な考えは何だろうか。 </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標に対する自分の現状を把握させるため、心のバロメーターを活用し、問題意識をもたせる。 【◇自分の考えをもつ】 ○ 本時で考えさせたいことを明確にするために、挑戦し続けるにはどんな考えが大切であるか既に分かり切っていることを押さえる。 ○ 挑戦し続けるためにはどんな考えが必要であるかを確認させるために、既得した道徳的価値を想起させ、本時で考えたいことが分かるようにシンキングツール（同心円）を活用し、可視化する。 【◇自分の考えをもつ】

3 教材「上村さんのちょうせん」を読み、主人公の気持ちを捉えながら、挑戦し続けるために必要な考えについて話し合う。

○ 上村さんはどんな思いでじゃがいもを災害救助犬にしようと思ったのでしょうか。

- ・ 福島の人を勇気づけたい。
- ・ ぜったいに災害救助犬にしたい。
- ・ 挑戦してみよう。



◎ 自分だったら、5回目のテストでじゃがいもが全然指示に従ってくれなかったときどんな気持ちになるでしょう。

あきらめない	もうやめたい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応援してくれている人の為に頑張る。 ・ 悔しい。 ・ 次こそは受かる。 ・ 被災地の人のためにも頑張る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やめたい。 ・ じゃがいもにも申し訳ない。 ・ 周りの人にも申し訳ない。 ・ もう受からない。




～対話活動のポイント～

- ・ いいなと思う考えや自分にはなかった考えを見つける。
- ・ もっと詳しく知りたいことについて聞く。
- ・ 挑戦し続けることについて考えを深める。

○ その後、上村さんが挑戦し続けたのはどうしてでしょう。

- ・ 応援してくれている人がいるから絶対に合格したい。
- ・ 最後までやる価値がある。



4 挑戦し続けるために、より大切な考えは何か考える。

- ・ 希望をもち続ける。
- ・ 努力し続ける。
- ・ いつかはできると信じる。

8

○ 内容を理解しやすいように、挿絵を使って大まかな内容や設定について説明する。また、視点を示してから教材を読ませるようにする。

○ 中心発問について考える際に抑えたり、まとめにつなげたりするために、上村さんは最初「ぜったいに災害救助犬にしたい。」と強い思いをもっていたことに気付かせる。

○ 5回目のテストでじゃがいもが全然指示に従ってくれなかったときの自分の気持ちが「もうやめたい」、「迷う」、「あきらめない」を明確にした上で、ロイロノートのテキストに気持ちを書き込ませる。

【◇自分の考えをもつ】

○ 多様な考えに触れさせるため、ロイロノートを活用して考えを共有する。

【◇他者の考えを知る】

※ 多様な考えに触れ、自分の考えをさらに深めさせるために、友達のいいなと思った考えや自分になかった考えを見つけたり、詳しく話を聞いたり、質問をしたりなどの対話活動のポイントを提示した上で友達と対話させる。

☆ 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。

【発言】

○ 自己の変容を分かりやすく示すために、交流後にネームプレートを動かしてもよいことを助言する。

15

○ 上村さんが挑戦し続けようとしたときの気持ちに気付かせるために、福島の人々と再開した場面の挿絵を提示する。


☆ 目標に向かって、やりがいをもって努力し、諦めない心の大切さに気付くことができたか。

【端末・発言】

7

○ 挑戦し続けるためにより大切な考えは何かを考えさせるために、シンキングツール（同心円）を活用する。

【◇自分の考えをもつ】

終 末	<p>5 これまでの自分の生活を振り返り、これからの生き方について考える。 【脇本タイム】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  <p>今までは、サッカーの試合でどうせ勝てないとあきらめていたけれど、これからは、ぼくはできると希望をもち続けていきたい。</p> </div> <p>6 教師の説話を聞く。</p>	10	<p>○ 授業を通して挑戦し続けることに対する自分の考えの変容に気付かせるために、導入時に活用した心のバロメーターを提示する。 【◇自分の考えをもつ】</p> <p>○ 振り返りを友達と共有させるため、ノートに書いたものを撮影し、ロイロノートで共有する。 【◇他者の考えを知る】</p> <p>☆ 学習したことを通して、これまでの自分を振り返り、これからはどうしていくか考えることができたか。 【端末】</p> <p>○ 教師が努力した体験談を聞かせることで、これからの生活に生かせるよう意欲を高める。</p>
--------	---	----	---

(4) 評価

- 目標に向かって、やりがいをもって努力し、諦めない心の大切さに気付くことができたか。
- 学習したことを通してこれまでの自分を振り返り、これからはどうしていくか考えることができたか。
- 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。

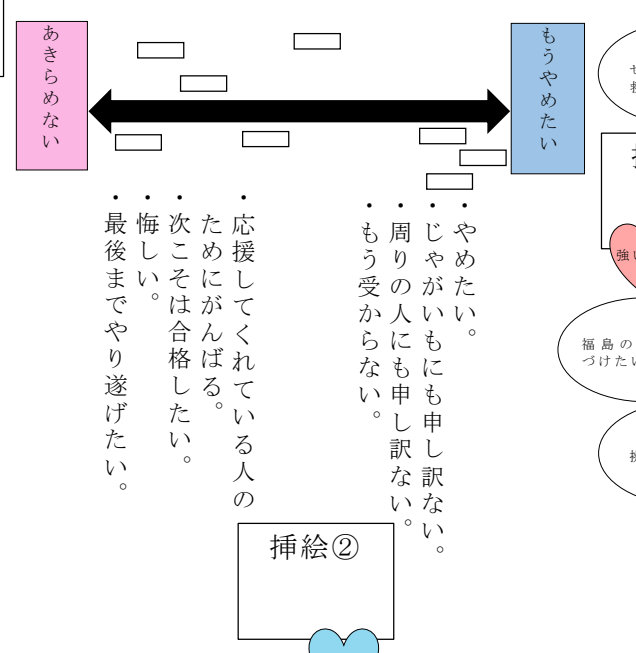
5 板書計画

④

- ・ 希望を持ち続ける。
- ・ 努力し続ける。
- ・ いつかはできると信じる。

挿絵③

あきらめない



もうやめたい

挿絵①

強い意志

福島の人を勇気づけたい

挑戦してみよう

挿絵②

やめたい。

じやがいにも申し訳ない。

周りの人にも申し訳ない。

もう受からない。

⑤

挑戦し続けるために、より大切な考えは何だろうか。

あきらめない心